

令和5年度独立行政法人自動車技術総合機構調達等合理化計画自己評価資料

重点的に取り組む分野

内容	評価	
<p>(1) 審査上屋等における改修等工事に関する調達</p> <p>令和4年度については、前年度に対して一者応札割合が僅かに減少した。令和5年度においても、引き続き新たな事業者の参画を促進するため、入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載依頼を行う等あらゆる周知ツールを活用するとともに、公告期間や工期の十分な確保を行う。</p> <p>また、仕様書内容を具体的かつ詳細に明示するなど見直しに努めることとし、入札参加要件の拡大、事業者への積極的な案内を図り、一者応札割合の改善に取り組むこととする。</p> <p>評価指標【競争契約に占める一者応札割合】</p>	<p>一者応札件数</p>	<p>競争入札全体に占める割合</p>
	令和4年度	28件 (35.0%)
	令和5年度	29件 (35.8%)
	<p>→令和5年度については、前年度に対して一者応札割合は同程度となっている。</p>	
	<p>令和5年度においても、入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載を行う等の周知を徹底するとともに、公告期間についても当機構の規定する期間より多くの期間を確保することで、透明性、競争性の確保に努めたが、令和4年度と比較して、取引事業者が少数である東北検査部や契約件数は少ないものの四国検査部で1者応札が増えたためです。</p>	
	<p>引き続き適切に調達を実施すべく、業界誌への入札情報掲載等、入札情報の周知徹底を図っていくとともに、アンケート等により、更なる要因分析を行い対応について検討してまいります。</p>	
<p>(2) 共同調達・一括調達の拡大</p> <p>令和4年度については、交通安全環境研究所に隣接する研究機関と共同して、前年度に引き続き、コピー用紙の購入や電気設備の保守業務に関する調達等の共同調達を実施し、事務処理の効率化を図った。令和5年度においても、引き続き共同調達を実施するとともに、他の契約についても共同調達の拡大を検討する。なお、令和5年度より独立行政法人国際観光振興機構と本部のコピー用紙の共同調達を開始している。</p> <p>また、業務の効率化・スケールメリットが見込まれる案件については、自動車技術総合機構全体を対象とした一括調達を進めており、検査機</p>	<p>共同調達件数</p>	<p>共同調達金額</p>
	令和4年度	4件 417.3万円
	令和5年度	5件 449.8万円
	<p>→隣接する他の研究機関と交通安全環境研究所において、昨年度に引き続き共同調達を実施。更に、令和5年度より独立行政法人国際観光振興機構と自動車技術総合機構本部においてコピー用紙購入の共同調達を開始した。</p>	

器の消耗品購入等、令和4年度においては36件を本部にて一括調達を実施しているが、引き続き拡大を検討していく。

評価指標 【共同調達及び一括調達(本部実施分)の実施件数】

一括調達件数 一括調達金額

令和4年度 36件 30.3億円

令和5年度 52件 28.1億円

→一括調達による手続きの効率化、コスト削減等が見込まれる案件について、昨年度に引き続き一括調達を実施。

なお、令和4年度と比較して件数が増加している主な要因は、検査用機械器具オートライト対応改造等の新規調達17件があったためである。(※令和4年度限りの調達減少分があるため前年度比17件増とはならない。)

また、従前より、機器の定期点検等の毎年度必要な調達は継続して一括調達しているものの、金額が減少している主な要因は、自動車検査用機械器具の製造及び据付における契約額の減少(令和4年度比▲約2億)等によるものである。

令和6年度においても、共同調達の拡大に努めるとともに機構本部と交通安全環境研究所の一括調達の更なる推進を検討していく。